主な事業（公共工事）

	県土整備部	災害レジリエンス No.１の実現
実施目的	水害等の気象災害が頻発化・激甚化する中で、気象災害の新たな脅威にしっかりと対応できる「災害レジリエンスＮｏ．１」の実現に向け、ハード・ソフトが一体となった防災・減災対策を加速させます。	
規模	Ｒ５事業費	22,114,788 千円
	令和５年度に実施する内容 【重点水害アクション（５か年重点レジリエンス戦略）】 ・河川改修［利根川(伊勢崎市・玉村町) 石田川(太田市) ほか］ ・堆積土除去［桐生川(桐生市) 霧積ダム(安中市) ほか］ ・危機管理型水位計、河川監視カメラの設置 【防災インフラの整備（中長期レジリエンス戦略）】 ・河川改修［碓氷川（高崎市、安中市）、蚊沼川（富岡市）ほか］ ・土石流対策［下町の沢(渋川市) ほか］ ・がけ崩れ対策［はるな郷Ａ地区(高崎市) ほか］ ・地すべり対策［駒留地区（藤岡市）ほか］ ・道路整備［上信自動車道(吾妻西バイパス ほか) 西毛広域幹線道路(高崎西工区 ほか) 渡良瀬幹線道路(笠懸藪塚工区 ほか) ほか］ ・落石対策［県道下仁田臼田線(羽沢工区) ほか］	
発注・進行状況	・施工量（月当たり）の平準化を踏まえた発注を実施 ・設計・測量⇒用地交渉⇒工事発注の順番で事業実施	
完成時期	石田川(太田市) 調節池整備 令和５年度完成予定 大沢川(東吾妻町) 土石流対策 令和５年度完成予定 上信自動車道(吾妻西バイパス) バイパス整備 令和５年度完成予定 西毛広域幹線道路(高崎西工区) バイパス整備 令和５年度完成予定 渡良瀬幹線道路(笠懸藪塚工区) バイパス整備 令和５年度完成予定	
効果等	水害対策では、甚大な被害が想定される地域の河川改修、堆積土除去、住民の避難行動を促すための危機管理型水位計・河川監視カメラの設置等を推進することで、水害リスクの軽減が期待されます。 土砂災害対策では、要配慮者利用施設や避難所等を保全する施設整備等を推進することで、土砂災害リスクの軽減が期待されます。 道路防災では、上信自動車道や西毛広域幹線道路等の道路整備、無電柱化や落石対策等を推進することで、大規模災害時の迅速な救命救助や被災地への支援物資輸送、経済活動の継続性の確保が期待されます。	
担当所属	道路管理課、道路整備課、河川課、砂防課、都市計画課	連絡先：027-226-3598･3600、3576･3578、3618、3633･3635、3672
関連ＨＰ	https://www.pref.gunma.jp/page/10886.html	